

子ども・健康
グループ



質問者（議員）
ささき かのん
佐々木 海音さん



質問者（補佐人）
ながね りな
長根 凌菜さん

問

減塩に向けた今後の取り組みは

答

塩分量を確認できる取り組みを実施

問 町民の塩分摂取量が高い値となっているが、小学校で減塩教室を実施したり、各家庭に塩分計を配布したりして、減塩に向けた取り組みを行うてはどうか。

佐藤町長 減塩教室については、小・中・高校生を対象に食育出前講座を年1回開催し、減塩食の調理体験などを実施している。本町では、塩魚や漬物等からの塩分摂取が課題となっていることから、主に汁物対応である塩分計を各家庭に配布する考えはないが、広報やホームページに毎月掲載している減塩料理に塩分量を表示するなど、自宅でも塩分量を確認できる取り組みをしていく。

その他の質問

◆子どもたちの運動不足の解消のためクラウドファンディングを利用し、廃校舎を室内運動場としては。



子ども・健康グループの皆さん

塩分の過剰摂取による肥満率・死亡率の増加に歯止めをかけ、町民の健康を少しでも改善してほしいです。

教育・文化
グループ



質問者（議員）
おおくぼ かれん
大久保 花連さん



質問者（補佐人）
くらもと だいき
倉本 大輝さん

問

山田高校にも給食を提供しては

答

将来的な提供に向けて検討していく

問 学校給食センターの提供可能数及び現在の実提供数は。

佐々木教育長 最大供給能力は1日当たり千食となっている。実際の提供数は学校行事等により変動はあるが、最大で1日当たり990食を提供している。

問 山田高校にも給食を提供できれば、保護者負担が軽減されると考えるがどうか。

教育長 供給能力のほぼ上限に近い状況であるため、これ以上食数を増やすことは難しい状況。今後、供給可能食数を見ながら、山田高校の意向を踏まえて、将来的な提供に向けて検討していく。

その他の質問

◆スクールサポートスタッフを配置しては。
◆出前授業などで町女性職員の活躍を紹介し、女性の町職員応募者を増やしては。
◆山田高校の支援に補助基準の弾力化を。



教育・文化グループの皆さん

給食提供で保護者の負担を軽減し、山田町の誇りである山田高校の生徒数減少に歯止めをかけたいと思質問しました。